

2022年度 プロジェクト科目 テーマ募集

社会の教育力を 同志社大学へ

あなたの提案が授業になる!

- ◆いま、社会を生き抜く智恵・技術が求められています。
- ◆プロジェクト科目とは…「現場」に学び、学生自らが考え、行動する授業です。
- ◆プロジェクト科目を教員と共に担当してみませんか？
- ◆企業・団体・個人より募集します。ユニークなテーマを待っています！

【応募期間】

2021年8月23日（月）～

9月3日（金）※必着

“同志社大学 プロジェクト科目”で検索！>>>



■プロジェクト科目とは？

学生主体の実践型・参加型の学習機会を重視したプロジェクト・ベースド・ラーニング（PBL）を基本とする授業科目です。

目的

「プロジェクト科目」は、地域社会の方々にテーマをご提案いただき、地域社会と企業がもつ「教育力」を大学の正規の教育課程の中に導入することによって、学生に生きた智恵や技術を学ばせるとともに、「現場に学ぶ」視点を育み、実践的な問題発見・解決能力など、いわば学生の総合的人間力を養成することを目的としています。

特徴

- ・公募制
学外からテーマ・担当者を公募
- ・全学共通教養教育科目
学部・学年横断型・全学年の参加
- ・少人数制
1プロジェクト5～19名で構成
- ・社会連携型
学外の調査や取材、成果発表等も体験



2021年度のテーマ例

- ・SDGs世代に贈る！「こどもと社会をつなげるゲーム」デザイン
- ・持続可能社会実現プロジェクトー地域資源を活かしてー
- ・留学生と創る！「京文化（能・酒造等）マイクロツーリズム読本」
- ・ラジオの魅力ー学生パーソナリティーの現場から高齢者へ
- ・京都の伝統織物ができるまでーオンライン体験を考えるー
- ・地域の共感をよぶ映像制作～まちづくり観光の視点から～
- ・つながりを取り戻すコミュニティスペースのデザイン
- ・教科書に載っていない古典の魅力を探るくずし字教材の開発と実践
etc...



■開講までのスケジュール



■授業の流れ（展開モデル）

決める

<科目担当教員間の連携>

授業の担当、評価方法・評価基準を決め、授業計画を立てます。シラバスとして学生に提示します。

<登録者の選考>

登録者を選考します。必要に応じて面接を行います。

つかむ

<プロジェクトの開始>

プロジェクトの目的や最終成果のイメージを全員が共有できるように話し合います。役割分担を決め、それぞれの活動を全体の活動にどのようにフィードバックさせていくかを明確にしておきます。活動のルールや成績評価基準についてもメンバー間で確認しておきます。

<企画書の作成>

問題点を洗い出し、解決方法を考え、プロジェクトの方向性を定めていきます。それにともなった企画書を作成します。

深める

<プロジェクトの運営>

活動報告書を提出、それぞれの作業進捗状況を確認し、定期的に活動を振り返りながら、計画の見直しを随時行います。必要な資源（授業運営費など）の配分を考慮し、活動をより効率化、活性化させるための工夫を考えていきます。

<調査活動>

限られた授業運営費を有効に活用して、調査活動を行っています。知識や情報を収集し、学習を高めています。

伝える

<成果の完成>

メンバーの調査結果、活動結果を集約し、プロジェクトとしての成果報告としてまとめていく作業を行い、成果（物）の完成を目指します。

<成果報告>

プロジェクトの目的、経緯を踏まえた上で、成果を纏めていきます。成果について学期ごとの成果報告会で発表します。

振り返る

<自己点検・評価、他己評価>

成果報告会の講評や、個人の活動結果、プロジェクトの成果を踏まえて、自己の活動の振り返りを行います。他己評価、グループ評価を通じて客観的に自己の活動を把握します。

<プロジェクト評価>

最終的にプロジェクトの目標・目的がどこまで達成できたか、総合的な評価を行います。担当者は、最終成果報告書をまとめ、提出します。

■応募方法について

2022年度プロジェクト科目公募に関する詳細については、下記URL「同志社大学プロジェクト科目HP/テーマ募集内の募集要領」をご覧ください。（QRコードからのアクセス可）

<https://pbs.doshisha.ac.jp/theme/list.html>



お問い合わせ 同志社大学 教育支援機構教務部今出川校地教務課 プロジェクト科目検討部会 事務局

住所：〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

電話：075-251-4630 FAX：075-251-3064

E-mail: ji-pbl@mail.doshisha.ac.jp